

2024年6月11日発行

担当：橋本・林・布上

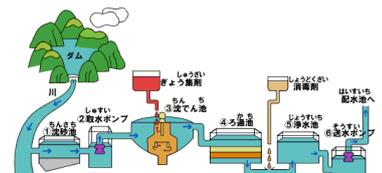
### 福山市中津原浄水場見学会

5月22日(水)10:00からお昼まで、福山市中津原浄水場を参加者20名(申込者26名)で見学しました。中津原浄水場は我々の生活に欠かせない飲料水の工場です。芦田川から取水して、沈砂池 → 着水井 → 沈でん池 → ろ過池 → 次亜塩素消毒 → 浄水井を経て、きれいになった水を市内2か所の配水池へ送られます。さらに配水池から市内各地の加圧ポンプ所を経て、私たち各家庭へと送られています。配水能力は日量10万 $\text{m}^3$ で、福山市の給水量の約50%をまかなっています。併せて工業用水の送水も行っています。取水から配水池へ送る過程は「中央管理センター」で集中管理されています。中央管理センターで講師からビデオを見ながら浄水の過程を聴講し、ビーカーで水中の小さなゴミを固める実験へ2名が挑戦しました。敷地面積9万 $\text{m}^2$ 内の沈砂池から浄水井・送水ポンプまでの施設を見学して周ると、万歩計は2,500歩を表示良い運動量になりました。能登半島地震で有難さを感じた水を作る工程の大変さを知った見学でした。



2024年5月22日福山市中津原浄水場

シンボルタワー「逆洗タンク」2基の前で集合写真を撮りました。



沈でん池の実験で、ろ過前の茶色に濁った水に薬品を入れてかき混ぜる、水の中の小さなゴミが固まりとなり沈み透明な水になりました。拍手喝采です。

※安全で良質な水道水が供給されています

災害用備蓄水  
アルミボトル

